

令和 2 年 12 月 25 日

芦田川河口堰主ゲートワイヤロープの 損傷原因及び再発防止策について

福山河川国道事務所が管理する芦田川河口堰主ゲート5号(右岸側)ワイヤロープの損傷原因及び再発防止策についてお知らせします。

【損傷原因】

ワイヤロープの**内部腐食**。

【原因の分析】

シーブボックス(滑車収納箱)内へ雨水や海からの波浪により水分が入ること
で、湿潤な環境となり、その水分や塩分
がワイヤロープへ浸透して内部腐食が
発生したものと思われます。

※主ゲート5号(右岸側)以外に、今回の原因となる
湿潤な環境はありませんでした。



写真-1 主ゲート シーブボックス外観

【再発防止策】

以下の内容を重点的に実施し、再発防止に努めます。

① シーブボックス内の水抜き穴清掃

シーブボックス底部に水が貯留しないように、水抜き穴の
清掃を行います。

② 目視確認・計測管理の実施

通常、シーブボックス内は、目視確認をすることができま
せんが、360度カメラをシーブボックス内に挿入すること
で、通常では目視できないワイヤロープ等の状態を映像で目
視確認します。

また、シーブボックス内のワイヤロープの摩耗量計測や素
線切れの傾向を管理します。